

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(令和3年1月～3月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗事件も多く発生しています。金融機関をご利用の際は、日時や場所を変え常に周囲の状況を確認するようにしてください。

万が一強盗被害に遭った場合は、犯人の要求に従い絶対に抵抗しないでください。

(2)主な事件概要

- ・ 1月4日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市の商店で、ブラジル人男性が夜食を買うために入店したところ、突然拳銃を持った男に襲われ死亡した。店内にいた他の男性客も流れ弾を受け負傷した。
- ・ 1月30日午前3時頃、セントラル県フェルナンド・デ・ラ・モラ市ノルテ地区のコンビニ(BIGGIE)に強盗が入り、店員を脅迫しレジにあった売上金を奪い逃走した。
- ・ 2月5日午前9時頃、アルト・パラナ県エステ市にある病院「Sagrada Familia」に、4人組の武装犯が侵入し、職員を拳銃で脅し現金を奪い逃走した。
- ・ 3月4日午前6時頃、アルト・パラナ県エステ市の中心部にある両替店に警察官を装った4人組の武装犯が侵入し、職員を拳銃で脅し現金を奪い逃走した。
- ・ 3月5日午後6時頃、アスンシオン市国会議事堂付近で大規模なデモ活動が発生した。約5,000人がデモに参加し、その中で機動部隊と一部の過激なグループが衝突し約20人が負傷した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

特に無し

4 日本企業の安全に関わる諸問題

事務所や店舗等の強盗被害が多発しており、多額の現金が扱われる業種や日時を狙って犯行に及ぶケースが多くみられます。情報開示範囲を最小限に留め、情報漏洩に注意してください。